

図書館の利活用と子どもの読書習慣の定着について

I 図書館の概要

- 1 市立図書館の機構
- 2 最近の主な取組み
- 3 利用状況

II 子どもの読書習慣定着

- 1 子ども読書活動推進の基本的考え方
 - (1) 基本的考え方
 - (2) 条例の制定
 - (3) 「新・北九州市子ども読書プラン」の策定
 - (4) 「新・北九州市子ども読書プラン」計画の全体像

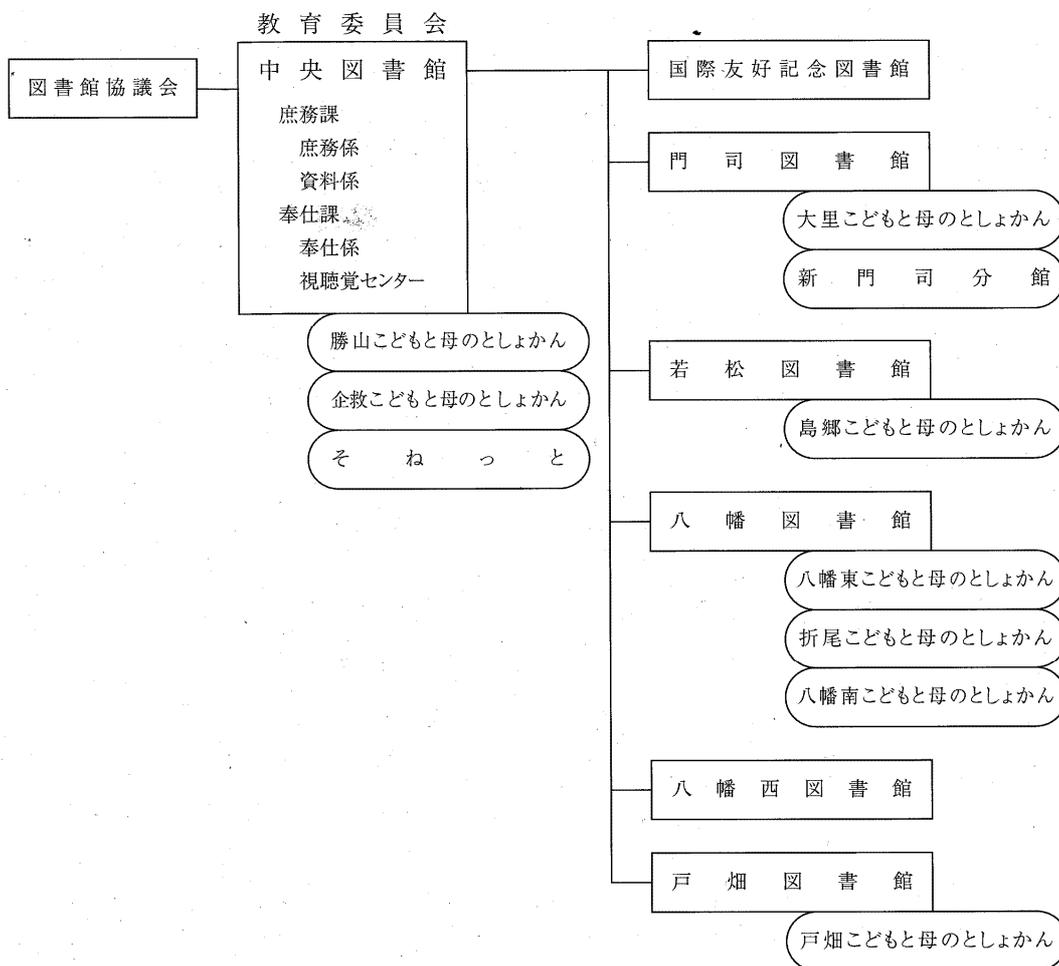
- 2 具体的取組みについて
 - (1) 図書館等での取組み
 - (2) 学校での取組み

- 3 「新・北九州市子ども読書プラン」における達成状況
プランにおける目標値と平成28年度実績値

- 4 これからの子ども読書活動推進について
 - (1) 読書活動推進拠点としての「子ども図書館」の設置
 - (2) 子ども図書館の役割
 - (3) 施設整備の考え方等

I 図書館の概要

1 市立図書館の機構(平成29年4月現在)



2 最近の主な取組み

- 平成18年 4月 市立図書館全館オンライン化
- 平成19年 4月 新門司分館開館
- 平成21年 7月 島郷分館を移転・開館
- 平成22年 8月 返却フリー制度開始
- 平成23年 7月 大里分館を移転・開館
- 平成24年 4月 インターネット予約を開始
- 平成24年 7月 八幡西図書館開館
- 平成25年 6月 大池分館廃止
- 平成26年 3月 戸畑図書館を移転・開館
- 平成28年 4月 八幡図書館を移転・開館
- 平成29年 7月 小倉駅と黒崎コムシティに返却ボックスを設置

3 利用状況

平成28年度

	登録者数（人）			貸出者数（人）			貸出冊数（冊）			蔵書数（冊）		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計	一般書	児童書	計
合計	280,856	41,313	322,169	812,231	162,631	974,862	2,921,338	799,692	3,721,030	1,358,786	440,103	1,798,889
中央図書館計	116,397	13,386	129,783	219,164	41,951	261,115	837,167	216,124	1,053,291	496,330	98,906	595,236
中央図書館	64,880	1,280	66,160	118,387	4,944	123,331	389,014	16,013	405,027	437,510	19,140	456,650
勝山分館	17,083	5,929	23,012	19,037	16,927	35,964	88,656	83,175	171,831	5,099	37,487	42,586
企救分館	18,019	3,300	21,319	42,806	12,863	55,669	195,694	77,527	273,221	26,268	23,992	50,260
曾根分館（そねっと）	16,415	2,877	19,292	38,934	7,217	46,151	163,803	39,409	203,212	27,453	18,287	45,740
国際友好記念図書館	1,046	46	1,092	3,793	421	4,214	11,870	1,513	13,383	19,827	3,501	23,328
門司図書館計	26,502	5,117	31,619	99,344	19,318	118,662	365,845	99,594	465,439	184,458	79,257	263,715
門司図書館	10,643	1,591	12,234	36,719	6,496	43,215	128,881	32,589	161,470	130,388	40,630	171,018
大里分館	12,249	2,083	14,332	43,233	7,221	50,454	162,163	38,459	200,622	30,447	21,674	52,121
新門司分館	3,610	1,443	5,053	19,392	5,601	24,993	74,801	28,546	103,347	23,623	16,953	40,576
若松図書館計	30,612	4,126	34,738	81,395	15,021	96,416	299,552	80,202	379,754	176,299	58,014	234,313
若松図書館	20,909	2,333	23,242	54,602	8,963	63,565	187,971	47,177	235,148	151,050	39,806	190,856
島郷分館	9,703	1,793	11,496	26,793	6,058	32,851	111,581	33,025	144,606	25,249	18,208	43,457
八幡図書館計	41,139	5,464	46,603	113,416	21,872	135,288	378,426	106,654	485,080	192,016	101,371	293,387
八幡図書館	18,514	2,277	20,791	57,372	11,908	69,280	183,189	53,091	236,280	140,942	46,977	187,919
八幡東分館	4,213	839	5,052	15,265	2,491	17,756	41,364	11,551	52,915	15,218	18,183	33,401
折尾分館	8,069	771	8,840	17,613	2,092	19,705	52,420	10,642	63,062	17,900	22,474	40,374
八幡南分館	10,343	1,577	11,920	23,166	5,381	28,547	101,453	31,370	132,823	17,956	13,737	31,693
八幡西図書館	39,189	7,737	46,926	169,933	31,911	201,844	588,546	145,103	733,649	149,405	40,343	189,748
戸畑図書館計	25,971	5,437	31,408	125,186	32,137	157,323	439,932	150,502	590,434	140,451	58,711	199,162
戸畑図書館	20,541	3,587	24,128	107,608	24,227	131,835	370,095	107,624	477,719	126,724	37,487	164,211
戸畑分館	5,430	1,850	7,280	17,578	7,910	25,488	69,837	42,878	112,715	13,727	21,224	34,951

（注）児童とは、中学生、小学生、幼児をいう。

平成23年度

	登録者数（人）			貸出者数（人）			貸出冊数（冊）			蔵書数（冊）		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計	一般書	児童書	計
合計	209,821	66,910	276,731	618,296	134,428	752,724	2,628,516	758,486	3,387,002	1,263,693	445,237	1,708,930
中央図書館計	97,499	24,025	121,524	215,061	40,945	256,006	918,043	242,692	1,160,735	512,660	113,748	626,408
中央図書館	58,730	3,557	62,287	124,764	4,142	128,906	466,484	14,197	480,681	451,300	31,085	482,385
勝山分館	11,920	9,687	21,607	18,409	17,436	35,845	97,910	107,539	205,449	5,671	40,197	45,868
企救分館	13,574	6,336	19,910	36,347	12,039	48,386	186,827	78,514	265,341	25,150	22,779	47,929
曾根分館（そねっと）	13,275	4,445	17,720	35,541	7,328	42,869	166,822	42,442	209,264	30,539	19,687	50,226
国際友好記念図書館	1,032	102	1,134	3,906	185	4,091	12,929	1,007	13,936	19,421	3,861	23,282
門司図書館計	19,756	8,756	28,512	89,114	19,876	108,990	371,333	104,114	475,447	187,445	78,077	265,522
門司図書館	9,075	3,060	12,135	36,478	5,406	41,884	142,385	28,214	170,599	141,100	42,283	183,383
大里分館	8,588	4,207	12,795	33,818	7,581	41,399	146,177	39,727	185,904	24,540	20,159	44,699
新門司分館	2,093	1,489	3,582	18,818	6,889	25,707	82,771	36,173	118,944	21,805	15,635	37,440
若松図書館計	24,500	9,596	34,096	82,142	16,452	98,594	333,057	90,705	423,762	171,745	56,218	227,963
若松図書館	16,426	7,010	23,436	58,363	9,984	68,347	220,877	52,217	273,094	148,369	38,216	186,585
島郷分館	8,074	2,586	10,660	23,779	6,468	30,247	112,180	38,488	150,668	23,376	18,002	41,378
八幡図書館計	49,103	16,200	65,303	155,085	31,513	186,598	663,147	178,629	841,776	234,420	135,335	369,755
八幡図書館	17,186	4,720	21,906	53,518	10,078	63,596	211,547	51,744	263,291	157,626	54,690	212,316
八幡東分館	3,433	1,870	5,303	18,731	4,034	22,765	69,001	21,245	90,246	17,042	20,819	37,861
大池分館	12,417	4,486	16,903	36,485	9,073	45,558	173,304	54,330	227,634	21,969	21,497	43,466
折尾分館	7,418	1,935	9,353	22,255	2,322	24,577	83,861	12,223	96,084	18,756	22,839	41,595
八幡南分館	8,649	3,189	11,838	24,096	6,006	30,102	125,434	39,087	164,521	19,027	15,490	34,517
戸畑図書館計	17,931	8,231	26,162	72,988	25,457	98,445	330,007	141,339	471,346	138,002	57,998	196,000
戸畑図書館	13,873	5,048	18,921	56,610	15,023	71,633	247,073	78,118	325,191	123,797	36,833	160,630
戸畑分館	4,058	3,183	7,241	16,378	10,434	26,812	82,934	63,221	146,155	14,205	21,165	35,370

（注）児童とは、中学生、小学生、幼児をいう。

Ⅱ 子どもの読書習慣定着

1 子ども読書活動推進の基本的考え方

(1) 基本的考え方

子どもの読書活動の推進は、子どもの読書活動が子どもにとって言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであるとともに、思いやりの心を育み、基礎学力を育てる上でも重要である。

この考えのもと、本市においては、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成18年度を開始年度とする「北九州市子ども読書活動推進計画」（平成18年度～平成22年度）を策定し、続いて第2次の北九州市子ども読書活動推進計画として、「北九州市子ども読書プラン」（平成23年度～平成27年度）を定め、家庭・地域・学校・市立図書館などが相互に連携して、子どもの成長段階に応じた読書環境の充実を図ってきた。

(2) 条例の制定

こうした中、全国で初めてと言われる、子どもの読書に特化した「北九州市子ども読書活動推進条例」が、平成27年6月市議会定例会において、常任委員会提出議案として上程、全会派賛成で可決され、7月3日公布施行された。

(3) 「新・北九州市子ども読書プラン」の策定

この条例に基づき、第3次北九州市子ども読書活動推進計画である「新・北九州市子ども読書プラン」（平成28年度～平成32年度）が平成28年2月に策定され、プランに謳われている「豊かな心と生きる力をはぐくむ読書環境の充実と子どもが楽しく自主的に本を手にする読書習慣の形成」を基本目標に、7施策36事業の実施を通して子ども読書活動の推進を図っている。

(4) 「新・北九州市子ども読書プラン」計画の全体像

別添のとおり

【添付資料】「新・子ども読書プラン」計画の全体像

基本方針

- ◆ 前計画から引き続き、「不読率」の改善に取り組む（読書をする子どもを増やす）
- ◆ 読書の量に加え質の向上を目指す（主体的に良質の本を読む子どもを増やす）
- ◆ 子どもの読書活動を取り巻く人材ネットワーク形成（子どもの読書を支える大人を増やす）

基本方針

豊かな心と生きる力をはぐくむ読書環境の充実と
子どもが楽しく自主的に本を手取る読書習慣の形成

活動方針	施策	主な取組み
Ⅰ 家庭、地域、学校、市立図書館、子育て関連施設における子どもの読書活動の推進	1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進	はじめての絵本事業、家読の推進、「早寝・早起き・朝ごはん・読書カード」事業、読み聞かせの実施、学校や市立図書館以外における図書貸出、家庭教育学級における子どもの読書をテーマとする講座の開催、ワーク・ライフ・バランスの取組みと連携した家庭の読書活動の推進、専門家による出前セミナーの実施
	2 学校における子どもの読書活動の推進	「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」の啓発・実践、一斉読書の時間（10分間読書など）の推進、音読・暗唱の推進、学校の図書館資料の整備・充実、読書実践者・実践校等表彰、司書教諭の配置・育成、利用しやすい学校図書館の環境づくり
	3 市立図書館における子どもの読書活動の推進	「家読おすすめコーナー」の設置、図書の推薦、読書感想文の募集、子どもの読書活動に関する相談機能の充実、誰もが利用しやすい市立図書館の環境づくり、「ヤングアダルト向け図書コーナー」の充実、読み聞かせボランティアの養成・活躍の場の提供、子ども図書館の整備、市立図書館への来館きっかけづくり
	4 子育て関連施設における子どもの読書活動の推進	子育て関連施設（認定こども園、幼稚園、保育所、児童館、放課後児童クラブ、各区親子ふれあいルーム、児童文化施設等、子どもが集う様々な場所）における読書活動の支援、子どもの読書環境の充実
Ⅱ 子どもの読書活動の推進のための関係機関の連携・協力	5 市立図書館と学校、市民センターその他関係施設の連携強化	市立図書館と学校・子育て関連施設等が連携した読書活動への支援、読み聞かせボランティアの学校・子育て関連施設・市民センター等への情報提供、「子ども司書」の養成・活用、図書館司書の学校への派遣、文学館など関係施設・団体が行う各事業への相互協力
Ⅲ 子どもの読書活動の推進のための啓発・広報	6 啓発・広報による意識向上	「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」の広報、読書活動の理解促進、絵本カーニバルの開催、電子書籍の普及動向・活用に関する調査・研究
Ⅳ 子どもの読書活動の主体的な読書の推進	7 主体的に読書に関わる子どもの育成、支援	子ども読書会議の開催（子どもによる「子ども読書のまち」の宣言、ピブリオバトルなどの新しい手法や子どものアイデアによる読書活動の推進）

2 具体的取組みについて

(1) 図書館等での取組み

ア 概要

「新・子ども読書プラン」（平成 28 年 3 月策定 H28～H32 の 5 年間）に沿って、子どもたちの読書活動を推進するため、図書館等では、学校等と連携・協力して、子どもたちが読書に親しむことができるよう、様々な取組みを行っている。

イ 主な取組み

a 中央図書館

①子ども司書養成講座の開催（平成 29 年度予算 260 千円）

平成 23 年度から、子どもたちが図書館司書の仕事や読み聞かせの技能などを学び、学校において読書の楽しさを広げる読書活動推進リーダーとして活躍できるよう、小学 5・6 年生と中学 1・2 年生を対象に、子ども司書養成講座を夏休み期間中に 5 回開催。

【認定者数】 H26：52 人 H27：49 人 H28：70 人

②学校貸出図書セットの実施（平成 29 年度予算 353 千円）

平成 19 年度から、学校における読書活動や調べ学習等の推進を図るため、学年別やテーマ別に図書 40 冊（セット事例については別添のとおり）を選び、クラス単位で活用できるよう、1 か月程度、中央図書館から学校へ図書の貸出を実施。

【貸出図書セット数と利用学校数(延数)】

H26：48 セット、72 校 H27：55 セット、80 校 H28：61 セット、114 校

③読書感想文の募集（平成 29 年度予算 1,505 千円）

昭和 50 年度から、市内の小・中・特別支援学校の児童生徒を対象に、読書を通じて得た喜びや感動を文章表現することで、ものの見方や考え方を深め、より豊かな感性を育むことを目的に、読書感想文募集事業を実施。

【応募点数】 H26：41,519 点 H27：39,444 点 H28：36,743 点

④読み聞かせボランティアの学校等への派遣（平成 29 年度予算 35 千円）

平成 25 年度に設立した「読み聞かせボランティアバンク」に登録した読み聞かせボランティアを幼稚園、保育所、学校等へ派遣。

※バンク登録者数：H29 年 3 月末現在：281 人（34 団体＋10 個人）

【派遣回数】 H26：15 回 H27：30 回 H28：30 回

b 地区図書館

①読み聞かせ・おはなし会の実施

中央図書館を除く16の地区図書館・分館において、読み聞かせボランティアの協力を得ながら絵本等の読み聞かせ・おはなし会を実施し、子どもが読書に親しめる環境づくりを推進。

【回数・参加者数(延人数)】 H26：1,088回、25,214人
H27：897回、18,886人 H28：987回、18,413人

②図書館司書の学校への派遣

学校の要請に応じて図書館司書を派遣し、市立図書館の利用方法や図書の配架の工夫など、子ども読書活動に関するアドバイス等を行っている。

【派遣回数】 H26：17回、H27：66回、H28：73回

c 学校や市立図書館以外の施設

①図書貸出

身近で子どもが読書に楽しむ機会を提供するため、市民センターに設置する「ひまわり文庫」の外、幼稚園や保育所、放課後児童クラブ等の各施設において図書を貸出。

【利用実績等】

ひまわり文庫(H26:129箇所、H27:128箇所、H28:128箇所)

年度	貸出者数	貸出冊数
26	30,275人	64,485冊
27	30,379人	65,477冊
28	29,713人	61,260冊

団体貸出文庫(団体向けの図書貸出、病院や高齢者施設も含む)

年度	登録団体数	利用件数	貸出冊数
26	87団体	183件	7,721冊
27	89団体	148件	7,109冊

【添付資料】学校貸出図書セット(読書支援)セット事例(40冊)

■セット名：平和を考える(A) ■内容：戦争と平和を考える本 小学校4年国語「一つの花」と併せて読む本

番号	書名	叢書名	著者	出版社
1	アンナの赤いオーバー	児童図書館・絵本の部屋	ハリエット・ジーフェルト/ぶん	評論社
2	アンネ・フランク		ジョゼフィーン・プール/ぶん	あすなろ書房
3	おかあさんの紙びな	創作絵本33	長崎 源之助/著	岩崎書店
4	絵で読む広島原爆	かがくのほん	那須 正幹/文	福音館書店
5	絵本おこりじょう		山口 勇子/原作	金の星社
6	お母ちゃんお母ちゃんむかえにきて	日本のえほん32	奥田 継夫/ぶん	小峰書店
7	かわいそうなぞう	おはなしノンフィクション絵本	つちや ゆきお/ぶん	金の星社
8	希望の義足		こやま 峰子/文	日本放送出版協会
9	せかいいち うつくしい ぼくの村	えほんはともだち	小林 豊/作・絵	ポプラ社
10	せかいいち うつくしい 村へかえる	えほんはともだち	小林 豊/作・絵	ポプラ社
11	せかいでいちばんつよい国		デビッド・マッキー/作	光村教育図書
12	戦火のなかの子どもたち		岩崎 ちひろ/作・絵	岩崎書店
13	せんそう		エリック・バトラー/作	ほるぷ出版
14	ちいちゃんのかげおくり	あかね創作えほん	あまん きみこ/作	あかね書房
15	チロヌップのきつね	金の星社の絵本	たかはし ひろゆき/文・作	金の星社
16	つる	世界子ども平和図書館	エリナー・コア/文	日本図書センター
17	てっぽうをもったキジムナー	童心社の絵本	たじま ゆきひこ/作	童心社
18	動物会議	ケストナー少年文学全集 8	エーリヒ・ケストナー/原作	岩波書店
19	なぜあらそうの？		ニコライ・ポポフ/作	BL出版
20	すみれ島	新編・絵本平和のために	今西 祐行/文	偕成社
21	はらっぱ	童心社の絵本	西村 繁男/画	童心社
22	ハンナのかばん—アウシュビッツからのメッセージ—	ポプラポケット文庫	カレン・レビン/著	ポプラ社
23	ひろしまのピカ	記録のえほん	丸木 俊/え・文	小峰書店
24	平和と戦争の絵本1 人はなぜ争うの？			大月書店
25	平和と戦争の絵本2 平和ってなに？			大月書店
26	平和と戦争の絵本3 戦争はなぜくり返される			大月書店
27	平和と戦争の絵本4 非暴力で平和をもとめる人たち			大月書店
28	平和と戦争の絵本5 わたしたちは平和をめざす			大月書店
29	平和と戦争の絵本6 憲法で平和を考える			大月書店
30	平和の種をまく	いのちのえほん	大塚 敦子/写真・文	岩崎書店
31	ぼうさまになったからす	新編・絵本平和のために	松谷 みよ子/文	偕成社
32	ぼくの犬	世界子ども平和図書館	ジョン・ヘファナン/文	日本図書センター
33	ぼくの村にサーカスがきた	えほんはともだち	小林 豊/作・絵	ポプラ社
34	ぼくは弟とあるいた	絵本の泉	小林 豊/作・絵	岩崎書店
35	まちんと	新編・絵本平和のために	松谷 みよ子/文	偕成社
36	目でみる戦争とくらし百科1 戦争への道		早乙女 勝元/監修	日本図書センター
37	目でみる戦争とくらし百科2 父が、兄が戦場へ		早乙女 勝元/監修	日本図書センター
38	目でみる戦争とくらし百科3 うばわれた平和なくらし		早乙女 勝元/監修	日本図書センター
39	目でみる戦争とくらし百科4 空襲と空腹の日々		早乙女 勝元/監修	日本図書センター
40	目でみる戦争とくらし百科5 平和の中での戦争		早乙女 勝元/監修	日本図書センター

(2) 学校での取組み

ア 概要

「新・子ども読書プラン」に沿って、子どもが学校図書館等を活用し読書に親しむ環境を整備するなど、学校における子どもの読書環境づくりに努めている。

イ 具体的取組み

① 子ども読書の日取組

毎年4月23日をはさんだ約1週間の期間内に、各学校で読書に親しむことのできるような特色のある活動を実施。

【主な活動】

一斉読書、本の読み聞かせ、ビブリオバトル、おすすめの本紹介、本の帯やPOPの作成など

② 一斉読書の時間(10分間読書など)の推進

朝自習の時間、5校時開始前、帰り会の時間を活用した一斉読書を推進

【週1回以上、一斉読書の時間を実施する学校の割合】

(単位：%)

	H26	H27	H28
小学校	100	100	100
中学校	51.6	41.9	38.7

③ 学校の図書館資料の整備・充実

○地域・郷土資料コーナーの設置

シビックプライドの醸成を踏まえ、地域にゆかりのある作家や地域で受け継がれてきた逸話、地域の産業等に関わる図書資料を集めたコーナーを全校に設置

○教科書コーナー

教科書に出ている作品や同著者の関連図書など図書の配架し、並行読書や発展読書を推進する。

④ 学校図書館職員の配置・育成

○学校図書館職員の配置・育成

学校図書館の環境整備、読書活動推進のために平成22年度から学校図書館職員の配置を行っている。今後平成32年度までに62中学校区に各1名、特別支援学校に1名を配置する予定。

【学校図書館職員配置状況】

(単位：人)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
中学校	27	31	37	43	49	55	62
特支校	0	0	1	1	1	1	1
	27	31	38	44	50	56	63

○学校図書館職員コーディネーターの配置

平成29年度から学校図書館職員の増員に対応し、学校図書館職員の育成・研修の充実を図るため、学校図書館職員コーディネーターを1名配置。

⑤ 利用しやすい学校図書館の環境づくり

○ブックヘルパーの配置

開館支援、蔵書整理等の環境整備充実のため、各学校においてブックヘルパーを募集し、活用することで、全校において常時開館している。また、学校図書標準冊数も全校で達成している。

⑥ その他

○図書館の使い方指導

国語科、道徳の中で指導

○並行読書、発展読書、調べ学習、一人学びの推進

国語科を中心に実施

○新聞の配架

図書室への配架や廊下等の新聞コーナーに児童生徒向け新聞や一般紙を設置し、新聞に対しての興味関心を持たせる。

【学校図書館への新聞の配架状況】

(単位：%)

	H27	H28
小学校	68	69
中学校	96	96

3 「新・北九州市子ども読書プラン」における達成状況

プランにおける目標値と平成28年度実績値

《施策1》 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

指標	H28年度目標値	H28年度実績値	H29年度目標値	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	担当課
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）読書を全くしない児童生徒の割合（不読率）	小6 22.0% 中3 40.5%	小6 22.3% 中3 42.3%	小6 21.0% 中3 39.0%	小6 20.0% 中3 37.5%	小6 19.0% 中3 36.0%	小6 18.0% 中3 35.0%	指導部
はじめての絵本事業（ブックスタート事業）における絵本配布率	75%	78%	85%	95%	97%	100%	中央図書館
児童生徒の1か月あたり読書冊数	小学生 10.0冊 中学生 3.6冊	小学生 12.0冊 中学生 3.4冊	小学生 10.5冊 中学生 3.7冊	小学生 11.0冊 中学生 3.8冊	小学生 11.5冊 中学生 3.9冊	小学生 12.0冊 中学生 4.0冊	指導部
家庭教育学級における子どもの読書をテーマとする講座開催数	40回/年	22回/年	55回/年	70回/年	85回/年	100回/年	市民文化スポーツ局 生涯学習課

《施策2》 学校における子どもの読書活動の推進

指標	H28年度目標値	H28年度実績値	H29年度目標値	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	担当課
週に1回以上、一斉読書の時間（10分間読書など）を実施する学校の割合	100%（130/130校） 43.5%（27/62校）	100%（130/130校） 41.9%（26/62校）	100%（131/131校） 50%（31/62校）	100%（131/131校） 50%（31/62校）	100%（131/131校） 50%（31/62校）	小学校 100.0% 中学校 50.0%	指導部
学校司書（学校図書館職員）の配置	38人	38人	—	—	—	63人	指導部
学校図書館における地域・郷土コーナーの設置	100%（130/130校） 100%（62/62校）	100%（130/130校） 100%（62/62校）	100%（131/131校） 100%（62/62校）	100%（131/131校） 100%（62/62校）	100%（131/131校） 100%（62/62校）	小学校 100.0% 中学校 100.0%	指導部

《施策3》 市立図書館における子どもの読書活動の推進

指標	H28年度目標値	H28年度実績値	H29年度目標値	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	担当課
市立図書館における子ども（18歳以下）1人あたりの貸出冊数	5.4冊	5.2冊	5.5冊	5.6冊	5.8冊	6.0冊	中央図書館
読み聞かせボランティアバンクからの派遣件数	18件	30件	21件	24件	27件	30件	中央図書館

《施策4》 子育て関連施設における子どもの読書活動の推進

指標	H28年度目標値	H28年度実績値	H29年度目標値	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	担当課
「早寝・早起き・朝ごはん・読書カード」事業への認定こども園、幼稚園、保育所参加数	58施設	95施設	66施設	74施設	82施設	90施設	企画調整課
子育て関連施設における市立図書館からの貸出文庫登録施設数	70施設	70施設	75施設	80施設	85施設	90施設	中央図書館

《施策5》 市立図書館と学校、市民センターその他関係施設の連携強化

指標	H28年度目標値	H28年度実績値	H29年度目標値	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	担当課
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館を全く利用しない児童生徒の割合	小6 34.0% 中3 54.5%	小6 32.2% 中3 57.2%	小6 33.0% 中3 53.5%	小6 32.0% 中3 52.5%	小6 31.0% 中3 51.5%	小6 30.0% 中3 50.0%	指導部
「学校貸出図書セット」利用学校数（延数）	77校	114校	82校	88校	94校	100校	中央図書館
市民センターにおける読み聞かせ実施館数	119館	121館	122館	125館	127館	129館	市民文化スポーツ局 生涯学習課

《施策6》 啓発・広報による意識向上

指標	H28年度目標値	H28年度実績値	H29年度目標値	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	担当課
「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」の実践率	小学生 38.0% 中学生 14.0%	小学生 36.6% 中学生 13.1%	小学生 41.0% 中学生 18.0%	小学生 44.0% 中学生 22.0%	小学生 47.0% 中学生 26.0%	小学生 50.0% 中学生 30.0%	企画調整課

《施策7》 主体的に読書に関わる子どもの育成、支援

指標	H28年度目標値	H28年度実績値	H29年度目標値	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	担当課
読書が好きな児童生徒の割合	小6 74.0% 中3 69.0%	小6 76.3% 中3 69.1%	小6 75.5% 中3 70.5%	小6 77.0% 中3 72.0%	小6 78.5% 中3 73.5%	小6 80.0% 中3 75.0%	指導部

4 これからの子ども読書活動推進について

(1) 読書活動推進拠点としての「子ども図書館」の設置

「北九州市子ども読書活動推進条例」では、子どもの読書活動の推進状況を踏まえて「北九州市子ども読書活動推進計画」を策定すること、学校図書館の蔵書の充実及び学校司書の配置や能力向上に努めることその他、子どもの読書活動の推進拠点となる「子ども図書館」を設置することが定められ、この条例に基づき、「新・北九州市子ども読書プラン」の中で、「子ども図書館」整備の基本的考え方が示された。

(2) 子ども図書館の役割

「子ども図書館」は、子ども読書活動を推進する拠点として、市内の図書館の児童部門のセンター的役割を担う。また、子ども向け専門図書館として、良質な資料を豊富に収集・提供するとともに、学校図書館支援センター機能、関係機関との連携の推進など、様々な支援を行うことを目的とする。このような取組みを行うことによって、「新・北九州市子ども読書プラン」に掲げる基本理念の実現を目指す。

機能

I 子ども向け専門図書館

- ・良質な資料を豊富に収集・提供（世界の絵本・児童書、歴史・社会・科学・文学資料等）
- ・子どもと本のふれあいの機会の創出
- ・親子が読書に親しみ、ゆったり過ごせる場の提供
- ・子どもの読書に関する情報の発信（ホームページ等）

II シビックプライドを醸成する図書館

- ・子どもたちが、本市の成り立ちや地域特性、誇るべき歴史や産業、文化・芸術、スポーツなどに触れることができるような資料の収集、提供
- ・市立文学館とも連携し、本市ゆかりの作家の作品や本市を描いた文学作品を子どもたちにわかりやすく伝える場の提供

III 市立図書館による児童サービスの統括機能

- ・地区館、分館における児童サービスの統括（レファレンス機能の強化、スタッフの研修等）
- ・地区館による地域の読書活動支援の統括
- ・地区館による地域人材（市民センター職員、ボランティア等）の育成支援

IV 学校図書館支援センター機能

- ・学校関係者（教員、学校図書館職員、ブックヘルパー等）の研修
- ・学校図書館の資料充実や活動に係る支援
- ・認定こども園、幼稚園、保育所等における子ども読書活動に係る相談支援

V 地域や家庭等での子ども読書活動の支援

- ・子どもや保護者等を対象とした事業の実施（はじめての絵本事業、読書の日イベント等）
- ・読み聞かせ等の読書関係ボランティア（団体・個人）とのネットワークづくり

VI 関係機関との連携の推進

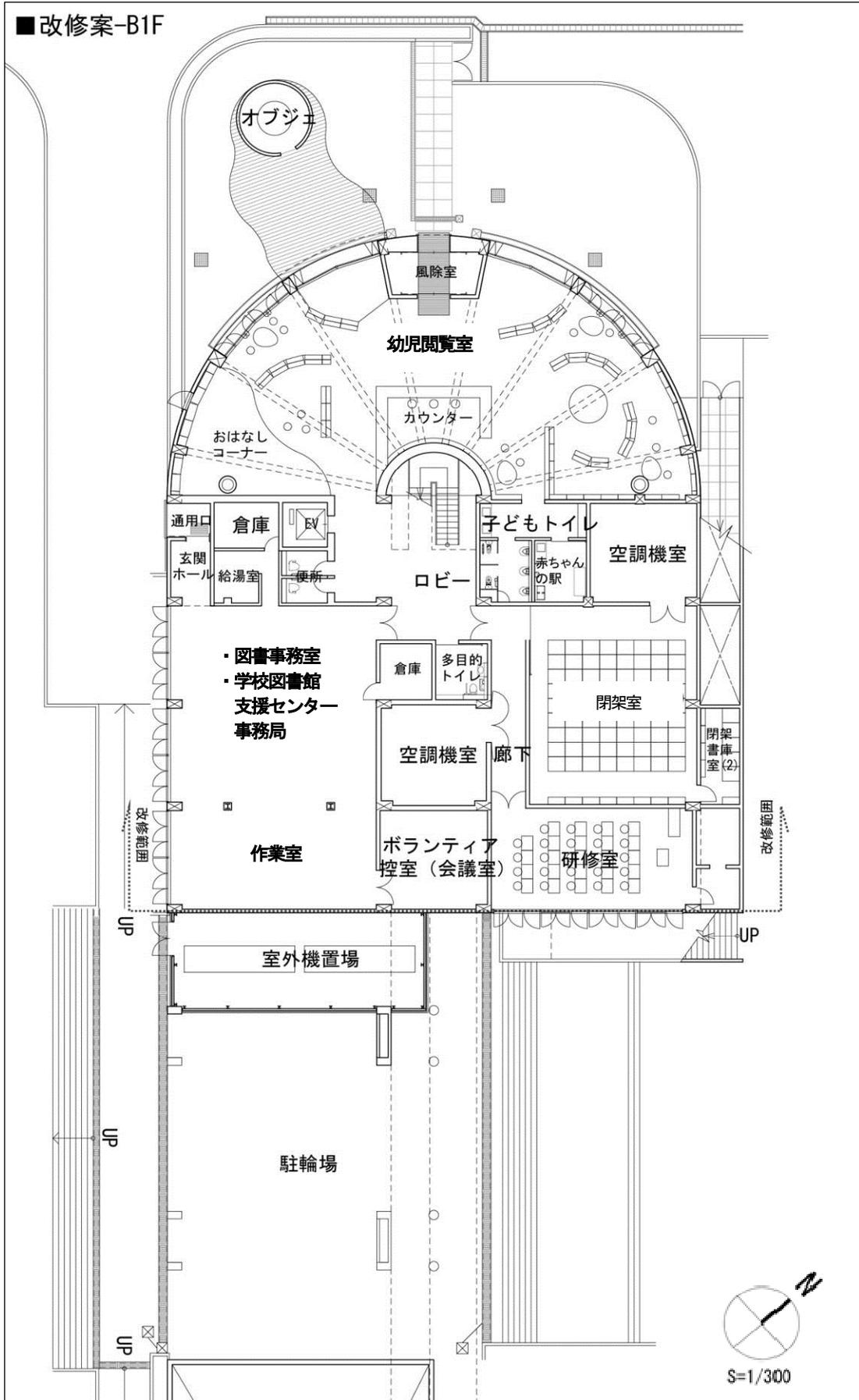
- ・子どもの読書活動促進に向けた関係機関との連携の推進（文学館、松本清張記念館、漫画ミュージアム等）

(3) 施設整備の考え方等

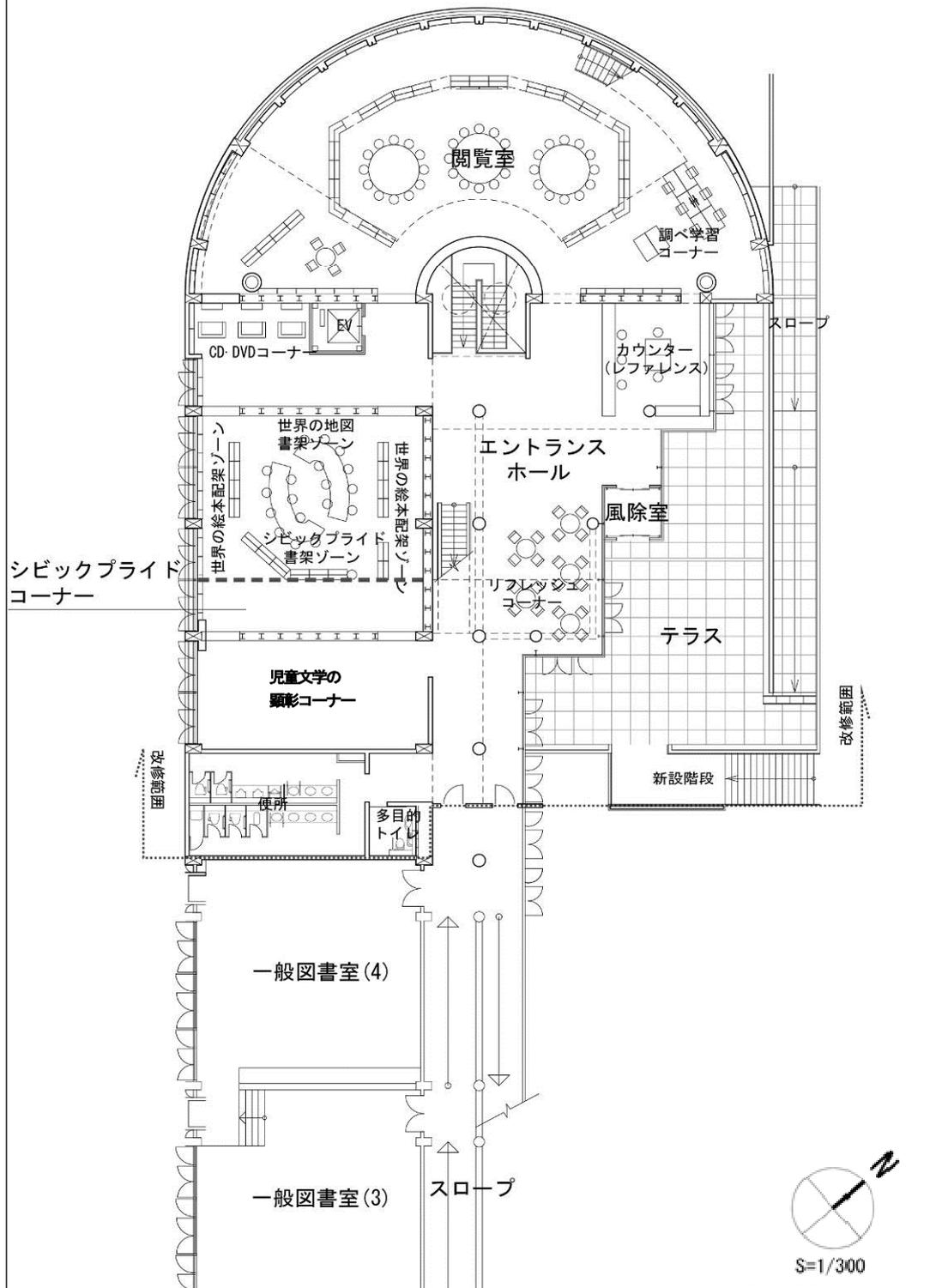
地下1階に幼児閲覧室、正面出入り口の1階に小・中・高校生閲覧室、2階に多目的室を設置する等フロアごとに機能をまとめ、使い勝手のよい読書環境をつくる。館内には新たにエレベーターを設置し、利便性にも配慮する。

また、閲覧空間を壁のないフレキシブルで開放的な空間になるように努めるとともに、蔵書数にとらわれない、子どもたちがゆったりとくつろげる、快適な読書空間を目指す。

■ 施設配置イメージ図



■改修案-1F



■改修案-2F

